



【男子決勝トーナメント2回戦・熊本—長野】
第1セット、熊本の水町(右)がスパイクを決め、
7—4とする＝大阪市中央体育館

JOC杯中学バレーボール 県選抜男子4強入り

JOCジュニアオリンピックカップ第30回全国都道府県対抗中学バレーボール大会第3日は27日、大阪市中央体育館などで男女の決勝トーナメント準々決勝までを行い、県選抜は男子が準決勝に進出した。女子は決勝トーナメント1回戦で敗退した。

県選抜の男子は、1回戦で長身選手のそろったものに、0—2で敗れた。2回戦も長野に快勝した。宮城との準々決勝は第1セット、23—24と先にセットポイントを握られたが、エース水町泰杜(菊鹿)のバックアタックなどで逆転して先取。続く第2セットも水町を中心に押し切った。女子は1回戦で埼玉に粘

ったものの、0—2で敗れた。

最終日は28日、同体育館で男女の準決勝と決勝を行う。

＝県勢記録＝

【男子】▽決勝トーナメント1回戦

熊 本 2 (2525) 118 0 千 葉

▽同2回戦

熊 本 2 (2525) 1815 0 長 野

▽同準々決勝

熊 本 2 (2526) 1724 0 宮 城
【女子】▽決勝トーナメント1回戦
埼 玉 2 (2625) 2416 0 熊 本

速攻中心に 多彩な攻撃

○男子の県選抜は、エース水町泰杜(菊鹿)を生かした多彩な攻撃で準決勝進出。セッターの江藤魁桃(同)は「速攻を中心にして、水町に負担が掛からないようにしたかった」とうなずいた。この日は1回戦から準

々決勝まで3試合。いずれの試合も相手のスパイクをしぶとく上げると、センター谷武珍(同)が素早く速攻の態勢に入り、水町へのマークを引きつけた。谷は「相手のサーブがしっかりセッターに返ってくるから、良い感じで打てた。きつかったけれど楽しかった」と笑顔を見せた。